

山行報告

桧枝岐川支流実川流域の沢

1988年の夏合宿は、桧枝岐川の支流、実川流域の一斉遊行として1988年7月30～31日の両日に実施した。この際、トヤマ沢と赤安小沢(L. 赤安小沢), 黒滝沢右俣, 左俣(I. 黒滝沢), 赤法華沢(L. 赤法華沢), 上曲沢(L. 上曲沢), 大丈沢(L. 大丈沢)の7本を遊行した。また、10月には、同流域の碓黄沢を遊行した。これらの記録をまとめて紹介する。



トヤマ沢

1988年7月30日

L. 赤安小沢

七入から実川林道をたどる。実川林道は、入口にゲートがあって、一般車は入れない。50分程歩くと終点。林道は、矢櫃沢出合の先まで通じている。もっとも矢櫃沢出合より先は、まだ工事中である。

林道終点から実川を遡る。ガイドブックには、左岸に踏跡があるとされていたが、ブッシュにかくされてわからなくなっている。実川本流は、水が少し濁っているのが気になったが、特に悪場もないまま黒滝沢出合。ここで和泉・大西パーティと別れる。

黒滝沢出合から10分程遡ると、実川は急に険悪となる。行手をさえぎるようにしていきなりゴル